

令和5年度指定の加古川市指定文化財

日岡山公園内の南大塚古墳及び西大塚古墳を新たに加古川市指定文化財に指定

主催 組織	加古川市教育委員会
日時 決定日等	令和6年3月7日の定例教育委員会で議決
場所	—
内容	このたび（3月7日）、加古川市教育委員会は、加古川市文化財審議委員会の答申を受けて、加古川市指定文化財として新たに1件を指定しました。 新たに指定したものは、日岡山公園内にある加古川市所有の「南大塚古墳及び西大塚古墳（みなみおおつかこふんおよびにしおおつかこふん）」古墳2基です。指定理由は、添付資料のとおりです。 これにより、市内の指定文化財は、国指定23件（うち国宝2件）39点、県指定33件56点、市指定72件1,429点と、国登録9箇所37件となります。 地域の文化財は、先人たちのくらしや地域の歴史や文化を物語るものです。こころ豊かな生活のために活用していくとともに、未来の人々のために大切に保存していかなければなりません。今後とも、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。 「加古川市指定史跡名勝天然記念物の指定について（指定の経緯等）」、「指定理由書」、「写真」、参考1「文化財ニュース67号」、参考2「指定文化財・登録文化財目録」を別添します。
対象（参加者）	
定員	
参加費	
申込先・方法	
目的・背景 その他	
市ホームページ	掲載済み（3月31日）
広報かこがわ	5月号に掲載予定 （全戸配布した3月31日付け「文化財ニュース67号」に掲載済み）

加古川市指定史跡名勝天然記念物の指定について

1 指定に至る経緯

令和5年12月13日（水）

加古川市長から「南大塚古墳及び西大塚古墳 2 基」の指定申請を受け付ける。

令和5年12月19日（火）

第2回加古川市文化財審議委員会（以下、「審議委員会」という。）で、申請に基づき「南大塚古墳及び西大塚古墳 2 基」の指定について、加古川市教育委員会から審議委員会に諮問し、審議が始まる。

令和6年1月30日（火）

第3回審議委員会で、現地調査及び審議が行われ、出席委員全員一致で「諮問のあった1件について、指定することを推薦する。」と議決される。

2月14日までに指定理由書（案）の確認を終える。

令和6年2月14日（水）

審議委員会から、諮問のあった1件について、新たに指定するよう指定理由書を添えて答申を受ける。

令和6年3月7日（木）

3月定例教育委員会で、審議委員会からの答申に基づき議決し指定する。

2 新たに指定した文化財の内容

新指定文化財（1件）

種別	名称	数量	所有者	所在地
史跡	みなみおおつかこふん およ にしおおつかこふん 南大塚古墳及び西大塚古墳	古墳2基	加古川市	加古川町大野日岡山公園地内

詳細は指定理由書のとおり

(新指定)

指 定 理 由 書

南大塚古墳及び西大塚古墳 古墳2基 《史跡》

所有者 加古川市 所在地 加古川市加古川町大野日岡山公園地内

南大塚古墳 加古川町大野 1658 番地及びその隣接地の一部

西大塚古墳 加古川町大野 1711 番地の 6 及びその隣接地の一部

大きさ／ 南大塚古墳 現長約 90m、後円部径約 54m、後円部高約 7.5m、前方部高約 4.9m

西大塚古墳 現長約 74m、後円部径約 40m、後円部高約 3.5m、前方部高約 1.5m

構造及び形式／ 各 前方後円墳

時代／ 各 古墳時代前期（4世紀）

指定理由

日岡山古墳群は、加古川左岸の印南野台地北西縁の日岡山に分布する古墳群で、古墳時代前・中期の前方後円墳5基と円墳4基、後期の群集墳から構成されている。山頂の景行天皇皇后の陵墓（播磨稲日太郎姫命日岡陵）に治定されているひれ墓古墳をはじめ、5基の前方後円墳は、首長墓と考えられ、この地域がヤマト政権と密接な関係があったことを示している。

これらの前方後円墳のうち、北大塚古墳はすでに市史跡に指定されている。また、この古墳群の東車塚古墳などからは三角縁神獣鏡などの副葬品が出土しており、市指定有形文化財に指定されている。

この古墳群の中で、日岡山公園内で加古川市が所有する2基の前方後円墳が、南大塚古墳と西大塚古墳である。

南大塚古墳は、現長約 90m の前方後円墳で、現状では日岡山古墳群最大の古墳であり、全体に墳丘の残りも良い。後円部頂に竪穴式石室が露出しており、前方部にも竪穴式石室が確認されている。墳形、埋蔵施設及び出土した銅鏡片などから古墳時代前期に築造されたと考えられる。

西大塚古墳は、現長約 74m の前方後円墳である。墳丘は、後円部の墓壇底面とみられる石敷きが露出するほどまで大きく削平されている。墳形などから古墳時代前期のものと考えられる。

これらの前方後円墳は、播磨地域の古墳時代前期を代表するもので、この地域の有力者の存在やヤマト政権との政治的関係を理解するうえで重要なもので、学術上価値の高いものである。

なお、いずれの古墳も、経年による墳丘の流出や削平が認められ、今後、必要な調査を経て、墳丘とともに周濠や外堤などの広がり考えた保護を視野に置いておくべきである。



写真 1-1

南大塚古墳

後円部北から
後円部を望む

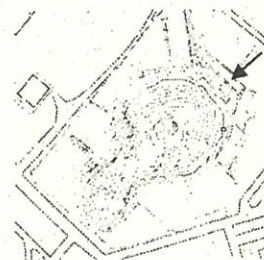


写真 1-2

南大塚古墳

前方部上から
後円部を望む

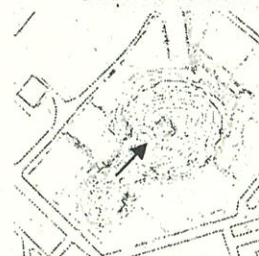


写真 1-3

南大塚古墳

前方部南東から
後円部を望む

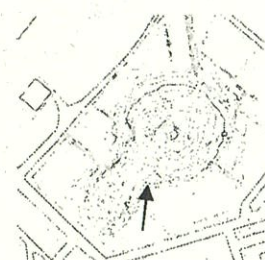


写真 2-1

西大塚古墳

後円部北から
後円部を望む

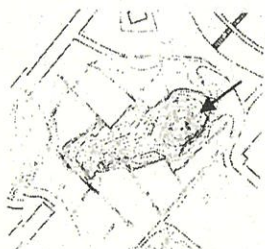
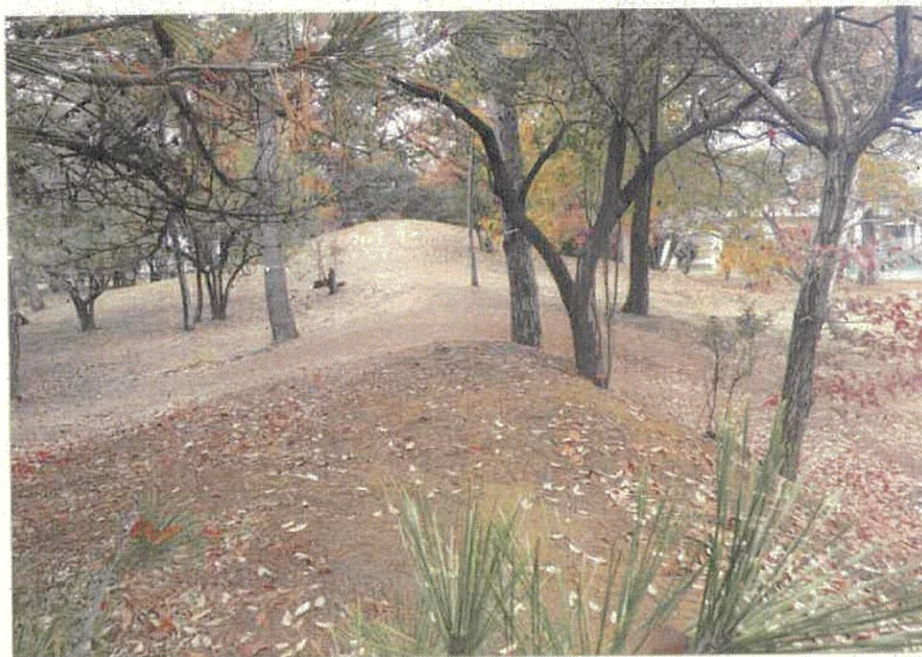
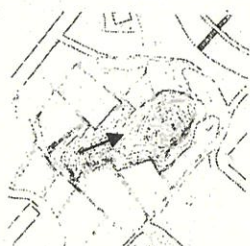


写真 2-2

西大塚古墳

前方部南西から
後円部を望む

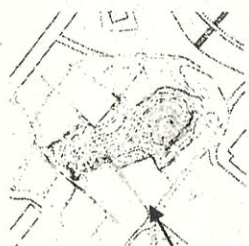


No.

写真 2-3

西大塚古墳

東から望む



「新発見！神納塚古墳」のミニ展示が開催されました。

神納塚古墳は、日岡山公園の駐車場整備工事に先立つ調査で偶然に発見された古墳時代前期の古墳です。この新しい古墳の発見は、日岡山古墳群を考えるうえで重要なものでした。令和 2 年に記録保存を目的とする本発掘調査を実施し、令和 4 年に調査報告書が刊行されています。会期中9,678人に来場いただきました。

文化財講座

毎年、地域の歴史や文化財についての理解を深めるための事業として文化財講座を開催しています。

令和 5 年度は加古川市民会館を会場に、10月21日「重要文化財鶴林寺鐘楼・護摩堂保存修理工事について」（茂渡俊慶先生、石綿吾朗先生）、11月4日「行者塚古墳から考える古墳時代の祭祀」（笹生衛先生）、11月23日「西条52号墓の成立」（宇垣匡雅先生）の3回の文化財講座を開催し、延べ152名の参加がありました。

本岡家住宅の3D測量調査・成果発表会開催

令和 5 年は、9 件の外部からの文化財調査を受け入れました。特に、東播工業高等学校



本岡家住宅三次元測量画像

生徒による県指定文化財本岡家住宅の三次元レーザー測量は延べ5日に及ぶもので、その後も実習の中で測量データをVR視聴できるよう取り組まれました。

そして、12月13日には市役所で成果発表会を開催するなど各地でその成果が披露されました。また、測量データは加古川市に寄贈いただきました。VR動画はホームページで視聴できます。

文化遺産総合活用推進事業協力

この事業は国の事業で、わが国の「たから」である地域の多様で豊かな文化遺産を活用した、伝統芸能・伝統行事の公開・後継者養成、古典に親しむ活動など、各地域の実情に応じた特色ある総合的な取組に対して支援することで、文化振興とともに地域活性化を推進することを目的としています。教育委員会では、市内の団体が実施する事業に協力しています。

令和 5 年度は「伝統文化親子教室」として獅子舞伝統文化伝承などの16団体の事業が実施されています。

また、関係団体によって加古川文化遺産活性化実行委員会が組織され「地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業」として祭礼で使用する太鼓の修理など3件の事業が実施されています。

これらの事業の詳しい内容については、文化庁のホームページで確認し、事業の申請・実施にあたっては、加古川文化遺産活性化実行委員会、または文化財調査研究センターにご相談ください。

令和6年度に西条古墳群記念事業を実施

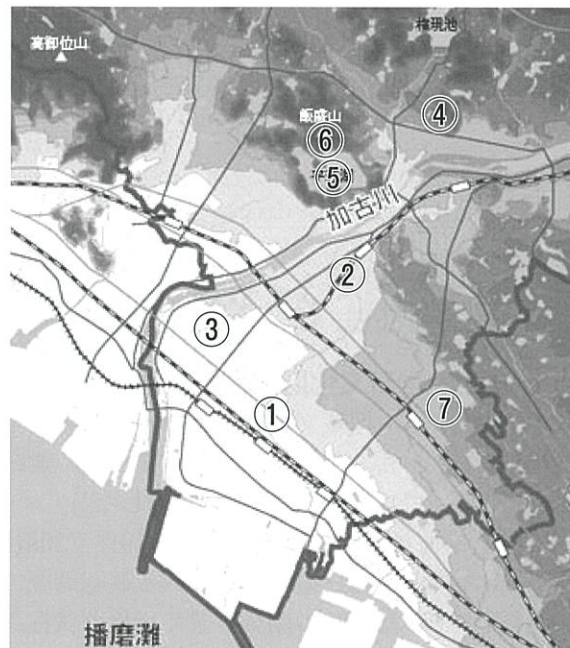
行者塚古墳、人塚古墳及び尼塚古墳の3基の古墳で構成される史跡西条古墳群は、昭和48（1973）年6月に国の史跡に指定されました。

令和 5（2023）年に史跡指定50年を迎えたことを記念して、令和 6 年度には、企画展、現地見学会、講演会などの事業を「西条古墳群国史跡指定50周年記念事業」として開催する予定です。

詳しい内容については、今後、ホームページやチラシでお知らせします。

編集後記

文化財ニュースは、令和 2 年まで町内会などを経由して全戸配布していました。近年は新型コロナウイルス感染症の影響や町内会の負担軽減のため、全戸配布を見送ってきましたが、4年ぶりの全戸配布で多くの方のお手元に届けていただくことになり、関係する皆さまには感謝申し上げます。今後の配布方法については、ご意見などを参考にいろいろ検討していきます。このニュースをはじめ、文化財の情報はホームページにも掲載しています。加古川市の歴史文化や文化財の情報については、表紙のQRコードなどから接続し、ご覧いただきますようお願いします。



文化財ニュース67号関係文化財地図
①鶴林寺 ②日岡山古墳群（南大塚古墳、西大塚古墳）
③泊神社 ④報恩寺 ⑤稚児窟石棺蓋 ⑥池尻55・56号墳
⑦文化財調査研究センター・加古川総合文化センター博物館

文化財ニュース67号関係文化財地図

文化財ニュース No. 67

編集・発行 加古川市教育委員会 文化財調査研究センター

文化財調査研究センター ■所在地 〒675-0101 加古川市平岡町新在家1224-7（中央図書館2階、JR東加古川駅から北へ徒歩約10分） ■電話 (079)423-4088 ■FAX (079)423-8975 ■事務取扱時間 平日9:15~18:00（土・日曜、祝休日、12月29日から翌年1月3日まで、毎月第2月曜は休所）
■ホームページ <http://www.city.kakogawa.lg.jp> （文化財調査研究センター直結QRコード）



重要文化財の鶴林寺鐘楼・護摩堂の修理完了

国宝太子堂をはじめ、多くの文化財を有する鶴林寺（加古川町北在家）で、重要文化財の鐘楼と護摩堂の修理が完了し、令和 6 年 1 月 28 日には完成式典がとり行われました。

この修理は、瓦の葺替えなど傷んだ屋根を中心としたもので、鶴林寺が事業主体となって、国をはじめ兵庫県、加古川市の補助を受けて実施されました。

令和4年度には、主に応永14（1407）年建立の鐘楼の修理が行われ、令和 5 年度は永禄 6（1563）年に建てられた護摩堂の修理が行われました。

前回の修理は、昭和 3・4（1928・9）年に行われていて、今回は95年ぶりの修理でした。文化財の修理では、可能な限り古い部材と技法を用います。解体するときは、現代の技術者が昔の技術者と語り合うように確認しながら部材を取り外し、1点ずつねじれや大きさなどのクセを確認して分け置き、老朽化や破損で使えなくなったものだけを新しいものに置き換えます。瓦の下は、

薄い板を重ねた土居葺きという下地を設けてその上に瓦を葺く昔ながらの工法で、十分に検討した図面どおりに、古い瓦と新しい瓦がみごとに組み合わせられました。

その他、屋根のほか、腐食した縁板や建具、縁下の亀裂のあった亀腹の漆喰の塗り直しが行われました。

今回の修理でいくつかの新しい発見がありました。護摩堂大棟の東西の鬼瓦には、永禄 6（1563）年の願主と大工の名のヘラ書きの銘文があり詳しく確認することができました。その一方で西の鬼瓦の上に置かれた鳥衾瓦の上面に、新たに文亀元（1501）年の銘文が確認されました。護摩堂建立の約60年前のものです。この鳥衾瓦を調べてみると、鶴林寺の仁王門（県指定文化財）のものと同様であることがわかりました。文化 9（1812）年の修理で、仁王門の鬼瓦を鯰瓦に取り替えており、その時にこの鳥衾瓦が仁王門から護摩堂に転用されたことが考えられます。

このことから、詳しい建立時期が不明であった仁王門が、文亀元年頃の建立である可能性が高まりました。

このように、文化財の修理から昔の技術だけでなく、歴史の一部が明らかになることがあります。

新しい指定文化財

令和 6 年 3 月 7 日の定例教育委員会で、文化財審議委員会の答申を受けた日岡山公園内にある「南大塚古墳及び西大塚古墳」が、新しく市指定文化財に加わりました。

これにより、市内の指定・登録文化財は、国指定23件（うち国宝2件）39点、県指定33件55点、市指定72件1,429点、国登録9か所37件になりました。

指定文化財をはじめ、市内には多くの文化財があります。先人たちが伝えてきた地域の文化財を、心豊か



鶴林寺鐘楼（重要文化財）



鶴林寺護摩堂（重要文化財）

な生活のために活用していくとともに、次世代に継承していくことに、ご理解とご協力をお願いします。

令和5年度の新しい指定文化財

南大塚古墳及び西大塚古墳

古墳2基 市指定 史跡
 大きさ／南大塚古墳 現長約90m、後円部現径約54m
 西大塚古墳 現長約74m、後円部現径約40m
 構造及び形式／各 前方後円墳
 時代／各 古墳時代前期／4世紀
 所在地／加古川町大野 日岡山公園地内
 所有者／加古川市

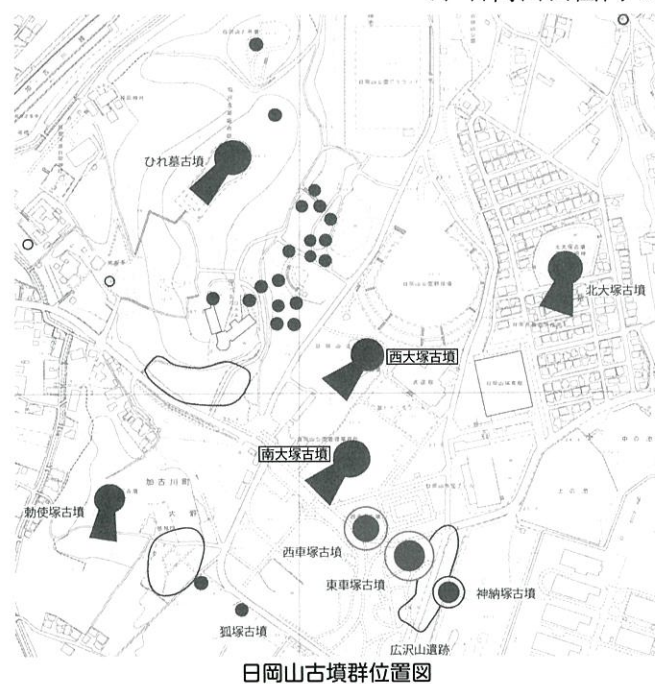
日岡山古墳群は、古墳時代前・中期の前方後円墳5基と円墳4基、後期の群集墳から構成されています。山頂には景行天皇皇后の陵墓（播磨稲日大郎姫命日岡陵）であるひれ墓古墳があるなど、5基の前方後円墳があることはたいへん興味深いことです。



南大塚古墳



西大塚古墳



日岡山古墳群位置図

これらの前方後円墳のうち、北大塚古墳はすでに市史跡に指定され、この古墳群の東車塚古墳などからは三角縁神獣鏡などの副葬品が出土していて市指定有形文化財に指定されています。この古墳群の中で、日岡山公園内で

加古川市が所有する2基の前方後円墳が、南大塚古墳と西大塚古墳です。

南大塚古墳は、全体に墳丘の残りが良いもので、後円部頂に竪穴式石室が露出していて、前方部にも竪穴式石室が確認されています。墳形、埋葬施設及び出土した銅鏡片などから古墳時代前期のものと考えられます。西大塚古墳は、後円部の墓坑底面の石敷きが露出するほど墳丘が大きく削平されています。墳形などからこちらも古墳時代前期のものと考えられています。

これらの古墳は、播磨地域の前期古墳を代表するもので、この地域の有力者の存在やヤマト政権の影響を理解するうえで重要なもので、学術上価値の高いものです。

近年の市指定文化財

新型コロナウイルス流行のため、お知らせする機会が少なかった近年の新しい市指定文化財を紹介します。

令和2年度指定

泊神社棟札 2枚
 市指定 歴史資料
 江戸時代／承応2(1653)年5月
 所有者／泊神社
 所在地／加古川町木村658

令和3年度指定

木造金剛界大日如来坐像 1軀
 市指定 彫刻
 南北朝時代／14世紀
 所有者／報恩寺
 所在地／平荘町山角466-1

令和4年度指定

稚児窟石棺蓋 1基
 市指定 考古資料
 古墳時代後期-飛鳥時代／
 6世紀末-7世紀初
 管理団体／池尻町内会
 所在地／平荘町池尻698-9



市登録文化財制度

令和6年度から市登録文化財制度を開始します。文化財の登録制度は、保護のための強い規制と補助がある指定制度と比べ、文化財の価値を認めながら、補助はほとんどありませんが、ゆるやかな保護措置の中で活用しながら、自主的な保護に期待するなどの特徴があります。

地域で昔から大切にされてきた文化財を幅広く登録

して、地域の活性化や次世代への文化伝承に活用いただきたいと考えています。

文化財関係印刷物刊行のお知らせ

令和5年1月から12月までに新たに刊行した文化財関係印刷物は以下のとおりです。文化財調査研究センターをはじめ関係施設・機関で閲覧することができます。また、解説シート及び報告書などの印刷物をホームページで公開しています。

『加古川市文化財年報第6号 令和2(2020)年度』(2023年、A4判58頁)	(非売品)
文化財解説シート(2023年、各A4判1枚両面刷)	
第33号『鶴林寺の銅鐘』、第34号『尾上神社の銅鐘』、第35号『報恩寺の石造五輪塔』、第36号『報恩寺の正和五年五輪塔』(無料配布用、残部有)	

文化財関係出版物の販売

教育委員会では、過去に刊行した文化財関係出版物で残部があるものを販売しています。購入を希望する場合は、直接、来所ください。郵送の場合は、送料などが必要です。詳しくは文化財調査研究センターまで。

【普及図書】

『郷土のおはなしと第1集』(1974年初版2023年二版重版、A5判96頁)	600円
『郷土のおはなしと第2集』(1975年初版2023年二版重版、A5判94頁)	500円
『郷土のおはなしと第3集』(1976年初版2023年二版重版A5判94頁)	600円
『加古川市の文化財』(1988年改訂、A5判123頁)	1,000円
『加古川市文化財図録』(1995年、A4判107頁)	3,800円

【文化財調査報告書】

『岸遺跡』(1961年初版1972年二版、B5判23頁)	200円
『山之上遺跡Ⅰ』(1977年、B5判8頁)	200円
『東中遺跡発掘調査報告書』(1981年、B5判106頁)	1,200円
『加古川市埋蔵文化財調査集報Ⅰ』(1983年、B5判28頁)	500円
『加古川市の民俗』(1985年、B5判291頁)	1,200円
『加古川市遺跡分布地図第2版』(1994年改訂、A4判291頁)	1,800円
『奥新田西古墳発掘調査報告書』(2000年、A5判41頁)	500円

調査と報告

埋蔵文化財発掘調査

教育委員会では、埋蔵文化財保護のために調査を実施しています。令和5年1月から12月までに、遺跡内での工事について138件の届出がありました。

このうち、遺跡の破壊の可能性がある19件(20遺跡)の開発事業で埋蔵文化財の有無を調べる確認調査、遺跡の可能性がある地区での開発事業で10件の試掘調査を実施しました。

確認調査では、高田構居跡(神野町)、池尻55・56号墳(平荘町)、北在家遺跡(加古川町)、長畑遺跡、

古代山陽道(以上平岡町)、下村遺跡(八幡町)の6件7遺跡で、試掘調査では、神野町北神野地区、野口町長砂地区の2か所で遺構を確認しました。

確認調査の結果などをもとに、可能な限り遺跡が破壊されないよう関係者と協議します。そして、やむを得ず遺跡を破壊する場合は、記録保存のために本発掘調査を実施し、発掘調査報告書を発行することで、記録の保存と公開を行います。

令和5年は記録保存のための本発掘調査が無かった年でした。本発掘調査の記録は「発掘調査報告書」にまとめられて公表されます。報告書を作成するには1年から数年の期間が必要です。近年の調査結果をまとめる作業が少し進んだ年でもありました。

埋蔵文化財の保護のため、一般に「遺跡」と呼ばれている「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事を行う場合、地中を掘る行為の60日前までに「発掘届」という届出をしなければならないことが文化財保護法で定められています。その届出に基づいて、埋蔵文化財を保護する必要がある場合は、協議をすることになります。

工事と埋蔵文化財保護を円滑に進めるために、土木工事などの計画がある場合は、早めに文化財調査研究センターにご連絡ください。



池尻56号墳箱式石棺検出状況

保護と活用

教育委員会では、市内の文化財保護のための事務とともに、文化財保護意識啓発のための事業を行っています。文化財の公開、説明板の設置、講座の開催、講師の派遣、指定文化財の整備や保存管理事業に対しての補助や協力などです。

また、加古川市文化財保護協会や加古川文化遺産活性化実行委員会をはじめ、地域の文化財関係団体とともに、文化財の保護と活用に取り組んでいます。

「新発見！神納塚古墳」ミニ展示

令和5年7月12日から10月31日まで、加古川総合文化センター博物館で、教育委員会との共催事業として



「新発見！神納塚古墳」展示風景

＜市指定＞

番号	種別	件名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所在地
44	書	大般若經	600帖	平19・3・1	鶴林寺	加古川町北在家424番地
45	書	鶴林寺文書	12通	平20・3・13	鶴林寺	加古川町北在家424番地
46	考	三角縁神獸鏡 附 石釧2点、方格渦文鏡1面、獸形鏡1面	1面	平2・10・11	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
47	考	三角縁神獸鏡	1面	平2・10・11	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
48	考	カンス塚古墳出土品一括	24点	平2・10・11	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
49	考	弥陀三尊種子板碑・釈迦三尊種子板碑	2基	平3・10・1	平之荘神社	平荘町山角478番地
50	考	胎蔵界大日一尊種子及び地藏立像板碑	1基	平3・10・1	地藏寺	平荘町池尻1番地
51	考	長慶寺山古墳出土品一括	34点	平6・11・10	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
52	考	弥陀三尊種子板碑	1基	平16・3・11	広尾西町内会	志方町広尾1576番地
53	考	線刻地藏板碑	1基	平18・3・2	西山町内会	平荘町西山122番地
54	考	六尊石仏	1基	平20・3・13	長楽寺	平荘町小畑150番地の1
55	考	八尊石仏(ハツ仏)	1基	平21・3・6	小畑東町内会	平荘町小畑
56	考	石製露盤及び刹	露盤1個・刹1個	平26・2・27	中西町内会	西神吉町中西251番地
57	考	弥陀三尊種子板碑・弥陀一尊種子板碑	2基	平27・2・26	西山町内会	平荘町西山103番地
58	考	六地藏石仏	1基	平28・2・25	西之山町内会	神野町西之山428番地
59	考	四尊石仏	1基	平28・2・25	報恩寺	平荘町山角466番地の3
60	考	天坊山古墳出土品一括	24点	平30・3・2	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
61	考	画文帯神獸鏡	1面	令2・3・12	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
62	考	稚児窟石棺蓋	1基	令5・3・9	池尻町内会	平荘町池尻698番地の9
63	歴	泊神社棟札	2枚	令3・3・11	泊神社	加古川町木村658番地
64	無	鶴林寺鬼追い	1団体	平13・4・12	鶴林寺鬼追い保存会	尾上町安田
65	民	祭礼絵巻	1巻	平2・10・11	神吉八幡神社	西神吉町宮前81番地
66	民	三十六歌仙図絵馬	32枚	平2・10・11	泊神社	加古川町木村658番地
67	史	宮山遺跡	古墳他	昭43・4・1	上西条・中西条町内会	八幡町上西条1158番地の2
68	史	北大塚古墳	1基	昭43・4・1	西之山町内会	神野町日岡苑31番地
69	史	教信寺境内	1か所	平10・1・8	教信寺	野口町野口384番地、465番地
70	史	石井の清水	1か所	平26・2・27	中西町内会	西神吉町中西251番地
71	史	南大塚古墳及び西大塚古墳	古墳2基	令6・3・7	加古川市	加古川町大野日岡山公園内
72	天	築山の榎	1本	平2・10・11	国包伊勢講	上荘町国包179番地

＜国登録＞

番号	種別	件名	数量	登録年月日	所有者・管理者	所在地
1	建	大歳家住宅(主屋、東什器蔵、西什器蔵、離屋、隠居部屋、長屋・長屋門、茶室、米蔵、穀物蔵)	9件	平11・11・18	個人	別府町新野辺881番地
2	建	多木浜洋館 (主屋、記念碑、石造門、煉瓦塀)	4件	平14・8・21	学校法人多木学園	別府町東町174番地
3	建	志方八幡神社社務所 (主屋、門、蔵)	3件	平14・8・21	志方八幡神社	志方町志方町301番地の2
4	建	神田家住宅洋館	1件	平17・2・9	個人	加古川町本町444番地の3
5	建	尾上神社 (本殿、拝殿、幣殿、隨身門)	4件	平19・5・15	尾上神社	尾上町長田518番地
6	記	みとろ苑庭園	1件	平19・7・16	財団法人農村文化協会	上荘町見土呂375番地の1
7	建	常楽寺 (本堂、薬師堂、山門、鐘楼)	4件	平19・7・31	常楽寺	東神吉町神吉1413番地
8	建	泊神社(本殿、末社住吉神社本殿、末社種子神社本殿、末社熊野神社本殿、幣殿、太鼓蔵、能舞台、神楽殿)	8件	平20・4・18	泊神社	加古川町木村658番地
9	建	旧大西家住宅(みとろ苑) (表門、大広間棟、渡廊下及び浴室)	3件	平21・4・28	財団法人農村文化協会	上荘町見土呂375番地の1

加古川市所在

指定文化財・登録文化財 目録

国指定：23件
県指定：33件
市指定：72件
国登録：9箇所37件
(遺跡数：669件)

令和6年4月1日現在

種別凡例

＜建＞建造物、＜絵＞絵画、＜彫＞彫刻、＜工＞工芸品、＜書＞書跡・典籍・古文書、＜考＞考古資料、
＜歴＞歴史資料、＜無＞無形文化財、＜民＞民俗資料、＜史＞史跡、＜天＞天然記念物、＜記＞記念物

＜国指定＞

番号	区分	種別	件名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所在地
1	国宝	建	本堂 附 棟札2枚	1棟	明34・3・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
2	国宝	建	太子堂	1棟	明34・3・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
3	重文	建	常行堂	1棟	明40・5・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
4	重文	建	鐘楼 附 旧小屋材1個	1棟	明40・5・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
5	重文	建	護摩堂 附 棟札2枚	1棟	明40・5・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
6	重文	建	行者堂 附 棟札2枚	1棟	昭5・5・23	鶴林寺	加古川町北在家424番地
7	重文	絵	絹本着色聖徳太子像	1幅	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
8	重文	絵	絹本着色慈恵大師像	1幅	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
9	重文	絵	絹本着色弥陀三尊像	1幅	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
10	重文	絵	絹本着色聖徳太子絵伝	8幅	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
11	重文	絵	板絵著色聖徳太子像 (太子堂壁画) 附 板絵著色仏涅槃図1面、 板絵著色九品来迎図1面	1面	昭52・6・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
12	重文	彫	銅造聖観音立像	1軀	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
13	重文	彫	木造釈迦三尊像	3軀	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
14	重文	彫	木造十一面観音立像	1軀	大3・8・25	鶴林寺	加古川町北在家424番地
15	重文	彫	木造天蓋	1個	大3・8・25	鶴林寺	加古川町北在家424番地
16	重文	彫	木造地藏菩薩半跏像	1軀	大7・4・8	長楽寺	志方町永室853番地の1
17	重文	彫	木造薬師如来及両脇侍像 木造二天王立像	3軀 2軀	平10・6・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
18	重文	工	鼈太鼓縁 附 鼓胴・革残欠 一括	2基	昭47・5・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
19	重文	工	木造鶴林寺扁額	1面	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
20	重文	工	銅鐘	1口	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
21	重文	工	銅鐘	1口	明34・8・2	尾上神社	尾上町長田518番地
22	重文	工	木造髹漆厨子	1基	大3・8・25	鶴林寺	加古川町北在家424番地
23	史跡	史	西条古墳群 (尼塚、行者塚、人塚)	3基	昭48・6・18	加古川市 山手二丁目958番は文部科学省、昭51・4・7加古川市管理団体指定	山手二丁目1700番51(尼塚)、958番・959番(行者塚)、1700番100・103・111(人塚)

加古川市教育委員会

文化財調査研究センター 〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1224-7

電話 079-423-4088 FAX 079-423-8975 ホームページ <http://www.city.kakogawa.lg.jp>

(文化財調査研究センター直結QRコード)



<県指定>

番号	種別	件名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所在地
1	建	石造宝塔並びに五輪塔	3基	昭36・5・12	常楽寺	加古川町大野1762番地
2	建	石造十三重塔	1基	昭37・6・15	報恩寺	平荘町山角466番地の1
3	建	本岡家住宅	1棟	昭44・3・25	加古川市	東神吉町天下原715番地の5
4	建	鶴林寺三重塔 附 寛文12年棟札 附 元禄10年棟札 附 文化9年棟札	1棟	昭45・3・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
5	建	石造宝篋印塔	1基	昭45・3・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
6	建	石造宝篋印塔	1基	昭47・3・24	円福寺	志方町高畑544番地
7	建	地徳寛墓地石幢	1基	昭47・3・24	細工所町内会	志方町細工所地徳寛墓地
8	建	石造五輪塔 附 銅製蔵骨器 1、陶磁製蔵骨器 1	4基	昭50・3・18	報恩寺	平荘町山角466番地の1
9	建	石造五輪塔 石造宝篋印塔 石造宝塔	1基 1基 1基	昭50・3・18	池尻町内会	平荘町池尻字益気350番地の3
10	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	土山町内会	平岡町土山357番地
11	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	養老町内会	平荘町養老592番地
12	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	良野中町内会	野口町良野1027番地
13	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	坂元町内会	野口町坂元508番地の2
14	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	安養寺	平岡町一色24番地
15	建	石造十一重塔	1基	昭51・3・23	福田寺	加古川町稲屋607番地
16	建	石造五輪塔	1基	昭51・3・23	教信寺	野口町野口465番地
17	建	石造九重塔	1基	昭52・3・29	常楽寺	上荘町井ノ口158番地
18	建	鶴林寺仁王門	1棟	平 4・3・23	鶴林寺	加古川町北在家424番地
19	絵	絹本着色当麻曼荼羅図 附 旧軸木1本及び補修記録1幅	1幅	平 4・3・23	龍泉寺	加古川町平野123番地
20	絵	阿弥陀三尊来迎図	1幅	平12・5・2	常楽寺	東神吉町神吉1413番地
21	絵	釈迦三尊十六善神像	1幅	平16・3・9	報恩寺	平荘町山角466番地の1
22	彫	行道面 附 宝髪 2個	12面	昭43・3・29	鶴林寺	加古川町北在家424番地
23	彫	木造阿弥陀如来坐像	1軀	昭48・3・9	鶴林寺	加古川町北在家424番地
24	彫	木造僧形坐像(伝恵便法師像)	1軀	平 8・3・26	鶴林寺	加古川町北在家424番地
25	彫	獅子頭	2面	平 9・4・8	鶴林寺	加古川町北在家424番地
26	彫	沙弥教信頭像	1軀	平13・3・30	教信寺	野口町野口465番地
27	彫	二臂如意輪観音半跏思惟像	1軀	平13・3・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
28	彫	木造聖徳太子立像	1軀	平31・3・12	鶴林寺	加古川町北在家424番地
29	工	懸仏 附 懸仏(如意輪観音)鏡板 1面	2面	昭48・3・9	鶴林寺	加古川町北在家424番地
30	工	机	1脚	昭48・3・9	鶴林寺	加古川町北在家424番地
31	工	懸仏(薬師如来)	1面	平17・3・18	鶴林寺	加古川町北在家424番地
32	書	報恩寺奉加帳並びに報恩寺文書	3帖、10通、1巻	昭50・3・18	報恩寺	平荘町山角466番地の1
33	史	西条廃寺跡	1件	昭44・3・25	加古川市	西条山手二丁目28、山手二丁目1700番63・75・149

<市指定>

番号	種別	件名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所在地
1	建	陣屋	1棟	平10・1・8	個人	加古川町寺家町315番地
2	建	平木橋	1基	平22・3・5	加古川市	野口町水足前ノ池
3	建	石造宝篋印塔	1基	平25・2・28	見土呂町内会	上荘町見土呂441番地の2
4	建	石造十三重塔	1基	平29・3・2	常楽寺	加古川町大野1762番地
5	絵	薬師十二神将図	1幅	平 2・10・11	常楽寺	東神吉町神吉1413番地
6	絵	聖徳太子絵伝	3幅	平 4・10・6	鶴林寺	加古川町北在家424番地
7	絵	釈迦三尊十六善神像	1幅	平 4・10・6	鶴林寺	加古川町北在家424番地
8	絵	播州印南郡報恩律寺七堂図 (参詣曼荼羅図) 附 勸進状 3巻	1幅	平12・4・13	報恩寺	平荘町山角466番地の1
9	絵	天台十大師図	10幅	平13・4・12	鶴林寺	加古川町北在家424番地
10	絵	釈迦如来座像及び十六羅漢像	16幅	平14・4・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
11	絵	両界曼荼羅図	2幅	平15・3・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
12	絵	仏涅槃図	1幅	平16・3・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
13	絵	妙音弁才天像	1幅	平18・3・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
14	絵	五大尊像	3幅	平31・3・14	鶴林寺	加古川町北在家424番地
15	彫	木造毘沙門天立像	1軀	平 2・6・15	教信寺常住院	野口町野口465番地
16	彫	木造阿弥陀如来坐像	1軀	平 2・10・11	鶴林寺真光院	加古川町北在家316番地の1
17	彫	木造阿弥陀如来立像	1軀	平 2・10・11	法音寺	尾上町養田629番地
18	彫	聖徳太子坐像及び二王子立像	3軀	平 4・10・6	鶴林寺	加古川町北在家424番地
19	彫	四天王立像	4軀	平 4・10・6	鶴林寺	加古川町北在家424番地
20	彫	弁財天立像	1軀	平 5・10・29	鶴林寺	加古川町北在家424番地
21	彫	地藏菩薩立像	1軀	平 6・11・10	永昌寺	神野町西条828番地
22	彫	地藏菩薩立像	2軀	平 6・11・10	鶴林寺	加古川町北在家424番地
23	彫	行基菩薩坐像 附 勸進帳 1冊	1軀	平11・1・7	鶴林寺	加古川町北在家424番地
24	彫	木造聖観音菩薩立像	1軀	平12・4・13	常楽寺	加古川町大野1762番地
25	彫	薬師如来坐像及び両脇侍像	3軀	平15・3・11	佛性寺	志方町原314番地
26	彫	大日如来坐像	1軀	平17・3・3	鶴林寺	加古川町北在家424番地
27	彫	阿弥陀如来立像	1軀	平19・3・1	如意寺	加古川町木村602番地
28	彫	地藏菩薩立像	1軀	平19・3・1	教信寺	野口町野口465番地
29	彫	追儼面	3面	平23・3・4	鶴林寺	加古川町北在家424番地
30	彫	木造金剛界大日如来坐像	1軀	令 4・3・10	報恩寺	平荘町山角466番地の1
31	工	朱漆塗猫足礼盤	1脚	平 2・10・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
32	工	銅鐘	1口	平 3・10・1	円照寺	志方町広尾1029番地
33	工	法華経版木 附 版木残欠	78枚	平 5・10・29	鶴林寺	加古川町北在家424番地
34	工	縹糸胸取金茶威二枚胴童具足	1領	平13・4・12	個人	平岡町西谷
35	工	鉄錆色漆塗桶側胴具足	1領	平13・4・12	個人	加古川町北在家
36	工	平之荘神社神輿	1輦	平13・4・12	平之荘神社	平荘町山角478番地
37	工	黒漆瓶子	1対	平17・3・3	鶴林寺	加古川町北在家424番地
38	工	鼓胴	1口	平24・2・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
39	工	牛皮華鬘	10枚	平24・2・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
40	書	紺地金字金剛般若波羅蜜経	1巻	昭63・1・14	鶴林寺	加古川町北在家424番地
41	書	大般若経	504帖	平14・4・11	報恩寺	平荘町山角466番地の1
42	書	大般若経	1巻	平14・4・11	報恩寺	平荘町山角466番地の1
43	書	妙法蓮華経	4巻	平14・4・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地